

3・11 郡山へ労組大結集を

朝鮮核戦争へ突き進むトランプと安倍を国際連帯闘争で打倒しよう

春闘で「働き方改革」一括法案粉碎を

『前進』読者のみなさん！ 2月2日に米トランプ政権が発表した「核戦略の見直し」(NPR)は、核先制攻撃と無制限の全面的核戦争の宣言です。日本の安倍政権はただちにこれを「高く評価する」と賛美しました。絶対に許せません。トランプと安倍を打倒する闘いに人類全体の存亡がかかっています。3・11反原発福島行動は核・原発への根底的な怒りを一つにし、朝鮮核戦争を阻止する歴史的な決戦です。そして3月25日の「9条改憲発議絶対反対！ 朝鮮戦争止めよう！ 3・25大行進 in H I B I Y A」は、この日行われる自民党大会を直撃する唯一の行動です。全国から結集し、怒りの声をたたきつけましょう！

労働運動再生へ5大方針

マスコミが平昌(ピョンチャン)オリンピックを舞台に米日や北朝鮮の「戦争外交」を報道する一方で、韓国では民主労総80万組合員を先頭とする民衆の闘いが「ろうそく革命から職場革命へ」「200万人の組織化とゼネストへ」と不屈に闘われています。労働者人民による革命が生き生きと進んでいることに、トランプと安倍はとことん追いつめられているのです。

この韓国民衆の闘いと連帯して、11日に開催された「国鉄分割・民営化による不当解雇から31年 2・11国鉄集会」では、労働運動が力を取り戻すための鮮明な方針が国鉄闘争全国運動と動労千葉から提起され、集会を通して打ち立

てられました。①「^{どうろうそうれんごう}動労総連合^{きょうぎかい}1047^{べんごだん}協議会」と^{せんとう}弁護団を^{こくてつ}先頭に、^{めいかい}国鉄^{こてつかいとうそう}1047^{あら}名解雇撤回闘争が^{たたか}新たな^{ふだ}闘いへと^{せんたく}踏み出しました。②「^{せんたく}選択と^{しゅうちゅう}集中」と称した^{せんき}ローカル^す線切り捨てへの^{ちいき}地域の^{いか}怒りの^{そうはんらん}総反乱が^{ちば}千葉や^{ほっかいどう}北海道・^{きゅうしゅう}九州をはじめ^{ぜんこく}全国で^{かいし}開始されています。③^{がつまつ}3月末の^{たいりょうやと}大量^ど雇い止め^{こうげき}攻撃との^{たたか}闘いを^き切っ先とする^{はたら}「^{かたかいかく}働き方改革」との^{たたか}闘いも^{かいし}開始されています。④^{どうろう}動労^{みと}水戸を^{せんとう}先頭とする^ひ被曝^{ばくろう}労働^{どうきよ}拒否^ひ闘争と^{じょうばんせんぜんせんかい}常磐線^{つうはん}全線^{はんたい}開通^{たたか}反対の^む闘いが^{ぜんしん}3・11に向かつて^{さいばんとうそう}前進しています。⑤^{ふく}裁判闘争を含め、^{どうろうそうれんごう}動労総連合が^{たたか}闘いぬいてきた^{がいちゅう}外注化・^{みんえい}民営化^{そしとうそう}阻止闘争は、^{しんじゆうしゅぎ}新自由主義に^{たむ}立ち向かい、^{ろうどうくみあい}労働組合が^{ちから}力を取り戻す^と闘い^{もど}です。^{たたか}

トランプ・^{あべ}安倍が^{かいけん}改憲と^{かくせんそう}核戦争に^つ突き進む^{すす}今の^{いま}時代だからこそ、この^{じだい}「^{いつ}五つの^{はしら}柱」を^{つらぬ}貫いた^{ろうどうくみあい}労働組合を^{ぜんこく}全国に^う打ち立てることが^た求められています。^{もと}連合・^{れんごう}全^{ぜん}労連の^{ろうどうしゃ}労働者^{しはい}支配を^{いま}今こそ^う打ち破るときです。^{やぶ}

^{ねん}30年を超えて「^こ国鉄^{こくてつぶんかつ}分割・^{みんえい}民営化^{はんたい}反対！^ふ不当^{こくてつ}解雇撤回！^こ」を^{つらぬ}貫いてきたからこそ、^{こくてつとうそう}国鉄闘争と^{どうろうそうれんごう}動労総連合には^{せいじとうは}政治党派や^{じょうぶだんたい}上部団体の^{ちが}違いも^こ超えた^{きょだい}巨大な^{しんらい}信頼が^よ寄せられてきています。この^{しんらい}信頼と^{だんけつ}団結は^{けつ}決して^かカネで^か買えるようなもの^{では}ありません。また^{ひとびと}人々が^{れきし}歴史や^{せだい}世代を超えて^こ抱き^いつづけてきた^{せんそう}「戦争を^{ぜったい}絶対に^{ゆる}許さない」^{なま}「仲間を^{ぜったい}絶対に見^み捨てない」といった、^{こんなん}どんな^{だんあつ}困難や^{つらぬ}弾圧があっても^貫きたい^{にんげんてき}人間的な^{あつ}熱い^{おも}思いを^ひ引き出す^だことのできる、^{ほんとう}本当にか^{たから}けがえのない^宝が^{こくてつとうそう}国鉄闘争です。^{しよくば}職場・^{ちいき}地域で^{たたか}闘いを^{つらぬ}貫き、^{いま}今この^{ぜんしん}『前進』を^よ読んでいる^{みな}みなさんに^{うった}訴えます。^{わたし}私たち^{じしん}自身が^{いっぽまえ}もう^で一歩前^{しよくば}に出、^{ちいき}職場や^{となり}地域で^{ひと}隣の人、と^{せいねんろうどうしゃ}りわけ^{がくせい}青年労働者・^{こえ}学生に^{ろんぎ}声をかけ、^お論議を^{ひとり}まき起こし^{ひとり}ましょう。一人ひとりと^{しんけん}真剣に^む向き^あ合い、^{じぶん}自分たち^{じしん}自身の^{うんどう}運動と^{そしき}組織を^{なか}その中から^あつくり^あ上げ^あましょう。

^{ろうどうしゃ}労働者は^{こっきょう}国境^{だんけつ}越え^{だんけつ}団結を

韓国・鉄道労組ソウル地方本部のパクソンス本部長は、2・11 国鉄集會に寄せたメッセージで次のように語りました。

「大部分の国鉄労働者が現実を受け入れたり、あきらめたり、絶望している時、同志たちが叫ぶ声がなかったなら日本ではもう『解雇撤回、地方路線廃止反対、民営化反対』の声を聞くことが困難でしょう」「(みなさんの) 主張……は絶対的に正しい良心の声……弱体化した日本の労働運動をよみがえらせることができる正しい路線であり、今はたとえ少数であってもついには日本の鉄道を、そして日本の労働運動を動かすことができる雷のような叫びだと考えます」

鉄道労組は、前大統領パククネを打倒し、監獄にぶち込んだ今年の「ろうそく革命」の先頭に立った労働組合です。何度も鉄道ゼネストを打ちぬき、ついに 98 人の被解雇者の解雇撤回と復職を会社に約束させました。同じく韓国から、旭硝子非正規職支会の仲間が解雇撤回をかちとるために、この 2 月から 3 月にかけて 2 週間以上にわたる日本遠征闘争にやってきます。労働者は国境を越えて一つであり、同じ現実に直面し、闘っています。闘いを通して国際連帯をつくりあげ、今こそ労働者が人間らしく生きられない世の中を変えるときです。

さらに民主労総は 3 月 24 日に労働者大会を行うことを決定しています。3・25 日比谷大行進は、戦争・改憲を阻止する国際連帯の闘いです。

ストで労働者の力示そう

福島原発事故から 7 年を迎える今年の 3・11 は、原発の再稼働と輸出、そして核武装化に突き進む安倍政権との全面対決です。そうした中で、福島大名誉

教授の清水修二らは、福島第一原発からわずか 15 ㎞の楡葉町で「福島はもう安全」とキャンペーンするための「県民大集会」を3月17日にやろうとしています。被曝・帰還の強制と闘う避難者や住民の思いを踏みにじり、安倍政権の核・原発政策の先兵へと労働組合を仕立て上げようとする集会です。絶対に許せません。

被曝労働拒否・常磐線全線開通阻止を闘う動労水戸を先頭に、核・原発と被曝・帰還の強制を許さない3・11反原発福島行動18を成功させましょう。

安倍は「戦後70年の歴史の中でも最大の転換」と言っている。「働き方改革関連8法案」を一括で成立させようとしています。労働基準法は70年前、敗戦直後の労働者民衆の闘いによって資本家階級に実力で強制した法律です。そこで書かれている一切の権利を奪い、「雇用によらない働き方」などと言って一人ひとりの労働者を「個人事業主」に分断して労働組合というあり方そのものを破壊し、すべての労働者を非正規職にたたきこもうというのが安倍の「働き方改革」です。絶対に粉砕しましょう。

改定労働契約法により、5年間働いた有期雇用労働者に無期雇用への転換権が発生する4月1日を前に、労働者を一斉に雇い止めにする攻撃が襲いかかっています。これに対し、動労千葉はJRの子会社であるCTS（千葉鉄道サービス）の非正規職労働者について「5年間働き、希望した労働者すべてを無期雇用にせよ」と要求する闘いを、所属組合を越えて闘っています。大量解雇を阻止し人間らしく生きられる大幅賃上げの獲得へ、労働組合に結集して共に闘いましょう。

さらに動労千葉は、3月ダイヤ改定をめぐりストライキを構えています。職場と社会を動かしているのは社長や政治家ではなく、私たち労働者です。18春闘

ストライキに胸を張^{むね}って突入^{は とつにゆう}し、そのことを見せつけてやりましよう。最大の^{さいだい}
 決戦^{けっせんじょう}場である首都・東京^{しゅと とうきょう}の築地市場^{つきじ しじょう}廃止絶対反対^{はいし ぜったいはんたい}、都庁^{とちょう}ふくしま署名解雇^{しよめいかい こ}と
 の闘争^{とうそう}、東京都丸ごと^{とうきょう とまる}と民営化^{みんえい か}との闘い^{たたか}を先頭^{せんとう}に闘い^{たたか}ましよう。

国鉄闘争^{こくてつとうそう}と並^{なら}んで、人々の信頼^{ひとびと しんらい}と誇り^{ほこ}を集^{あつ}めているのが星野文昭^{ほしの ふみあき}さんと大坂正^{おおさかまさ}
 明^{あき}さんの闘い^{たたか}です。1971^{ねん}年の沖縄返還^{おきなわへんかん}協定批准^{きょうてい ひ じゅん そ しとうそう}阻止闘争^{けっ き}に決起^{さつじん}し、「殺人^{ざい}
 罪^あ」にで^{ほしの}ち上げられた星野^{ふとうたい ほ}さんは、不当逮捕^{ねんかん}から43^{ごくちゅう}年間、獄中^{ひてんこう}で非転向^{つらぬ}を貫^ぬ
 き断固^{だんこ}として無実^{むじつ}を訴^{うった}え闘^{たたか}い抜^ぬいています。同じく大坂^{おな おおさか}さんは46^{ねん}年もの指名^{しめい}
 手配攻撃^{てはいこうげき}を打ち破^{う やぶ}り、不屈^{ふくつ}・非妥協^{ひ だきょう}を貫^{つらぬ}いています。無実^{むじつ}の星野^{ほしの}さん、大坂^{おおさか}さ
 んを絶対^{ぜったい}に取り戻^{と もど}ましよう！